



—臓器移植はあなたの意思をつなぎます—

## 新潟県臓器移植推進財団だより

令和元年11月発行 公益財団法人新潟県臓器移植推進財団  
ホームページ <http://www.niigata-ot.net>

新潟市中央区新光町4番地1(新潟県福祉保健部健康対策課内) TEL:025-283-4880

### 臓器移植フォーラム2019in新発田を開催しました！



より多くの人々に移植医療についての理解を深めてもらい、臓器提供に関する意思表示をしていただくため、国では毎年10月を臓器移植推進月間と位置付けております。

その一環として、当財団では、10月6日(日)に新発田市の「イオンモール新発田」にて「臓器移植フォーラム2019in新発田」と題し、FM-NIIGATA「ヤン&アッキーのど〜なの？臓器移植シーズンR」の公開録音等を実施しました。当日は、100名以上の方が来場し、移植医療について考えました。

#### ✓「ヤン&アッキーのど〜なの？臓器移植シーズンR」

令和初となるFM-NIIGATA「ヤン&アッキーのど〜なの臓器移植」。今回はシーズンR(※)と題して公開録音を実施しました。ご主人が臓器提供された原澤美智子さん、ダンスパフォーマンスを披露してくれた新潟医療福祉大学の板垣莉子さん、風間ひかるさんをゲストに迎え臓器移植に関して、「楽しく・分かりやすく」をモットーにトークを展開しました。原澤さんからは当時の体験談や現在の心境など、提供者家族の立場から貴重なお話をいただきました。板垣さん、風間さんからは臓器移植に関する考えや素朴な疑問等についてお話をいただきました。

※Rには、「令和(れいわ)」「リターンズ」「命リレー」の意味が込められています。



(左から) 秋山政人(新潟県臓器移植推進財団)、FM-NIIGATAパーソナリティのヤンさん、村井杏さん



(左から) 原澤美智子さん、板垣莉子さん、風間ひかるさん

#### ✓ 街頭アンケート



公開録音に先立ち村井杏さんと当財団の秋山コーディネーターが臓器移植に関する街頭アンケートを実施しました。

#### ✓ ダンスパフォーマンス



新潟医療福祉大学ダンス部によるパフォーマンスで会場が盛り上がりました。

#### ✓ 移植医療に関するクイズ



会場の皆さんに「提供できる臓器は？」など、移植医療に関する基礎知識をクイズで出題しました。

#### ～来場者アンケートより～

- 家族と臓器移植について話し合いたいと思った (30代女性)
- 臓器提供を受ける人の考えや感情が知りたい (50代男性)
- 移植医療について専門職の方からも話を聞きたい (20代女性)
- ダンスからパワーをもらった (30代女性)



## ～臓器移植推進のための皆様のご支援をお願いします！～

当財団では、一人でも多くの患者さんが移植を受けられるよう、臓器移植に対する県民の理解促進を図るため、県、市町村、患者団体等と連携し、臓器移植に関する知識の普及啓発に取り組んでまいりました。

しかしながら、財団の収入は基本財産運用益や賛助会費及び寄付金から構成されており、今後も安定的に活動を行っていくためには、皆様からの一層のご支援が必要です。

ついては、以下の方法により、ご支援をいただきますようお願いいたします。



### ①賛助会加入及び寄付

#### 賛助会加入及び寄付の方法

★賛助会費(年会費)		郵便振替 の場合	口座番号 00500-4-76919
法人1口	10,000円		公益財団法人新潟県臓器移植推進財団
個人1口	1,000円	銀行振込 の場合	北越銀行 新潟県庁支店
※当法人に賛助会費や寄付金を納められた方は税額控除されます。領収書が必要な方はご連絡ください。			普通口座 237932

### ②チームグリーンリボンNIIGATA



グリーンリボンは世界的な移植医療のシンボルです。

グリーンは「成長」と「新しい命」を意味し、Gift Of Life (命の贈り物) によって結ばれた臓器提供者と移植が必要な患者さんのつながりを表現しています。

移植医療を推進する上で大切なのは、一人一人が「臓器提供をしたい」、「臓器提供をしたくない」の意思表示をすること。

当財団では、意思表示促進のための普及啓発活動に御協力いただける企業様、団体様を募集しています。地域への社会貢献、移植医療の推進のため、是非チームグリーンリボンNIIGATAへ御参加ください。

【参加企業(敬称略)】

(株)メディック太陽、(株)コム・メディカル  
(株)エヌ・エム・アイ、笹菊薬品(株)

グリーンリボンキャンペーン新潟

検索



### ③寄付型自動販売機の設置

寄付型自動販売機は、飲料の売り上げの一部が団体の活動資金として寄付される自動販売機です。

現在、新潟県内の団体・医療機関等5か所※に設置いただいています。

※設置個所(敬称略)：新潟市歯科医師会、あがの市民病院、大森内科医院  
源川医科器械(株)、アルファスグループ

#### 特徴

- 設置・置き換えは無料です。全国どこでも対応可能です。
- 寄付金の振込は自販機業者が行うので、手間や費用が一切かかりません。
- 企業のCSR活動や、個人の社会貢献活動に最適です。
- 売り上げに応じて、販売手数料をお受け取りいただけます。



【寄付型自動販売機の設置に関するお問い合わせは】

特定非営利活動法人 寄付型自動販売機普及協会(フリーダイヤル 0120-937-650)

## 臓器提供及び移植の状況

### (1) 献腎提供者・献腎移植者・献腎待機者の状況

平成31年3月31日現在(人)

年度		H26	H27	H28	H29	H30
献腎提供者	全国	78	82	97	96	96
	新潟	1	3	3	6	6
献腎移植者	全国	144	157	190	188	188
	新潟	2	3	4	8	8
献腎待機者	全国	12,849	12,825	12,432	12,524	12,524
	新潟	256	240	228	215	215

### (2) 本県の献眼登録者・献眼者・待機者の状況

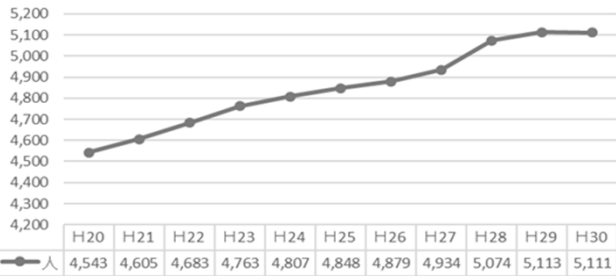
平成31年3月31日現在(人)

年度		H26	H27	H28	H29	H30	累計
献眼登録者		329	186	246	155	144	1,060
献眼者		13	10	8	10	10	51
献眼待機者		42	35	43	36	35	191

### (3) 人工透析患者の現状

腎不全のため人工透析を行っている患者さんは年々増加傾向にあります。(下図)  
腎不全の唯一の根本治療は腎移植であり、多くの患者さんがこれを待ち望んでいます。

新潟県の透析患者の状況



参照: 新潟県「人工腎臓透析実施状況調査」

## 臓器移植の意思を表示しましょう

健康保険証や運転免許証に意思表示記入欄があります。臓器提供の意思表示にご協力ください。



〈 1. 2. 3. いずれかの番号を○で囲んでください。〉

- 私は、脳死後及び心臓が停止した死後のいずれでも、移植の為に臓器を提供します。
- 私は、心臓が停止した死後に限り、移植の為に臓器を提供します。
- 私は、臓器を提供しません。

〔 1〕又は 2 を選んだ方で、提供したくない臓器があれば、×をつけてください。【心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球】

〔特記欄: \_\_\_\_\_〕

署名年月日: \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日

本人署名(自筆): \_\_\_\_\_

家族署名(自筆): \_\_\_\_\_



(意思表示カード裏面)

### 公益財団法人新潟県臓器移植推進財団 役員名簿

令和元年10月31日現在

- 理事長 成田 一衛 新潟大学大学院歯医学総合研究科 腎・膠原病内科学(第二内科) 教授
- 副理事長 福地 健郎 新潟大学大学院歯医学総合研究科 視覚病態学分野 教授
- 常務理事 齋藤 和英 新潟大学大学院歯医学総合研究科 腎泌尿器病態学分野 准教授
- 理事 木下 義晶 新潟大学大学院歯医学総合研究科 小児外科学分野 准教授
- 堂前 洋一郎 新潟県医師会 理事
- 中山 徹 新潟県眼科医会 会長
- 青池 郁夫 新潟県透析医会 会長
- 内山 聖 魚沼基幹病院 病院長
- 山口 征吾 魚沼基幹病院 地域救命救急センター長
- 桐生 裕子 日本赤十字社新潟県支部 事務局長
- 加藤 敏敦 新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 理事長
- 大脇 健一郎 新潟県腎臓病患者友の会 会長
- 監事 石崎 修 元新潟県三条地域振興局健康福祉環境部参事(医薬予防課長)

### 公益財団法人新潟県臓器移植推進財団 評議員名簿

令和元年10月31日現在

- 評議員 高橋 姿 新潟大学 学長
- 富田 善彦 新潟県病院協会 会長
- 松田 英伸 新潟大学歯医学総合病院 眼科 講師
- 高井 和江 新潟県医師会 理事
- 川崎 禎之 長岡赤十字病院 院長
- 奥村 麗子 (公社)新潟県看護協会 会長
- 富山 道郎 新潟県ライオンズ・アイバンク協議会 顧問
- 田中 納次 新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事 理事長
- 森澤 真理 新潟日報社 論説編集委員 室長
- 田中 利夫 日本文理高等学校 副校長
- 園田 裕久 新潟県長岡保健所長
- 小林 康昌 新潟県市長会 事務局長
- 渋谷 聡 新潟県町村会 事務局長
- 石田 芳英 (株)石鋸工業 代表取締役(新潟移植者の会)
- 顧問 岩田 和雄 新潟大学名誉教授 岩田眼科医院 名誉院長
- 大石 正夫 白根健生病院 眼科医部長
- 荒川 正昭 新潟県福祉保健部参事
- 高橋 公太 新潟大学医学部名誉教授 (医ときわ会大塚台クリニック) 院長

## ～すこやか・ともしびまつりに参加しました～

令和元年9月29日・30日に長岡アオーレで開催された、すこやか・ともしびまつりに新潟県腎臓病患者友の会と共にブースを出展し、意思表示リーフレットの配布や臓器移植に関するクイズを行いました。クイズ参加者からは「これを機会に臓器移植に関心をもった」、「意思表示をしてみたい」等の声をいただきました。



クイズには約90名の方が挑戦し、楽しみながら臓器移植に関する知識を身につけていただきました。

